

# 水道事業会計のディスクロージャー

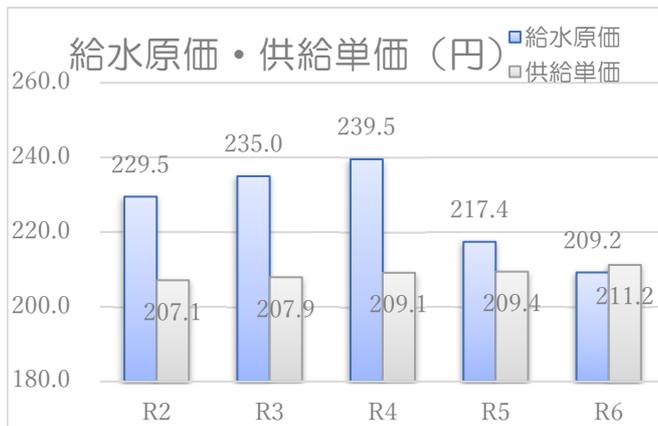
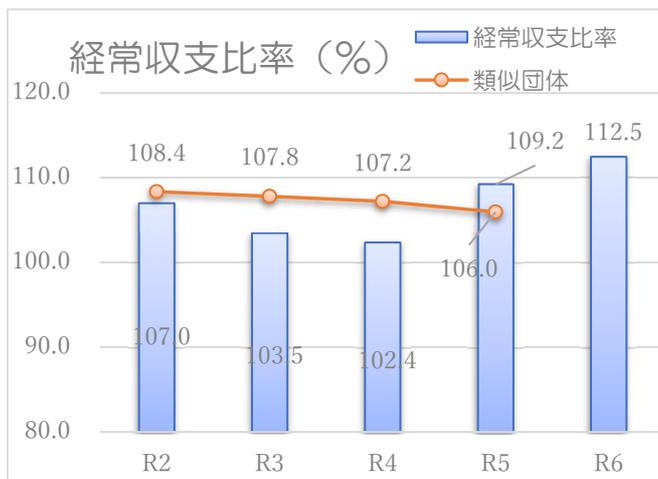
※ディスクロージャーとは、企業の情報開示という意味です。

水道事業会計は、地方公営企業法に基づき企業会計方式（複式簿記）で財務管理されています。民間企業と類似した形で決算処理され、損益計算書、貸借対照表やキャッシュフロー計算書を作成し、単年度の損益、保有する資産状況や、一年間の現金の動きなどを示すことができます。

簡易水道事業は令和6年度より地方公営企業法を適用し、水道事業会計へ会計統合しました。

## ■水道事業の主な経営指標

### ①経営の健全性について



### ■経常収支比率 (112.5%)

経営の健全性を示す「経常収支比率」は112.5%となり、経常収益で経常費用を賄えたことがわかります。今年度は給水収益の増加と維持管理費や支払利息等の費用の減少により、前年度より3.3ポイント増加しています。

### ■給水原価・供給単価

#### 《給水原価 209.2 円》

1立方メートルの水を提供するための費用を表すものです。近年は物価高騰による維持管理費の増加に伴い高い傾向にありましたが、令和6年度は支払利息の減少等により下がりました。

#### 《供給単価 211.2 円》

1立方メートルの水を使用するために、使用者が負担している単価を表すものです。

#### 《分析》

給水原価が供給単価より高い状態を改善することが重要となります。今後も経費節減に努めていきます。

### ■有収率 (78.0%)

年間総配水量と料金化された水量（有収水量）の比率を表すものです。水道水は、地下水を取水し、水道法に基づく塩素消毒を行い配水池に送水され、配水池から自然流下で家庭等に配水されています。配水池から料金メーターまでの間で漏水などがあると、料金化されない水が発生するため、経費の無駄が生じます。近年は漏水調査を実施していないため当該比率も年々低下しており、前年度より2.5ポイント減の78.0%となりました。今後は漏水調査等を行うなど有収率向上に努めてまいりますので、漏水調査へのご協力をお願いいたします。

## ②経営の効率性について



### ■料金回収率 (100.9%)

給水に係る費用が料金収入でどの程度賄えているかを表すものです。

料金回収率は規模の小さな自治体では施設整備や維持管理費に対し料金収入が少なくなるため必然的に低くなると言われていますが、当該年度は僅かながら100%を上回りました。

### ■施設利用率 (59.9%)

一日配水能力に対する一日平均配水量の割合を表すもので、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。前年度より2.3ポイント増加し、近年のコロナ禍から回復しつつあります。

## ■簡易水道事業の主な経営指標

### ■経常収支比率 (113.4%)

経営の健全性を示す「経常収支比率」は113.4%となり、100%を超過していることから黒字であることを示していますが、料金収入は人口減少に伴い減少しています。また、当該事業は地域間格差是正の政策的事業のため一般会計からの繰入金に依存している状況です。

### ■給水原価・供給単価

#### 《給水原価 777.0円》

1立方メートルの水を提供するための費用を表すものです。修繕費や動力費等の維持管理費や支払利息が大きくなっていることが高くなる要因です。

#### 《供給単価 215.9円》

1立方メートルの水を使用するために、使用者が負担している単価を表すものです。

#### 《分析》

給水原価が供給単価より高い状態を改善することが重要となります。より一層の経費節減に努めていきます。

### ■有収率 (83.5%)

年間総配水量と料金化された水量（有収水量）の比率を表すものです。引き続き有収率向上に努めていきます。

### ■料金回収率 (27.8%)

給水に係る費用が料金収入でどの程度賄われているかを示す指標です。100%を大きく下回っているため、水道料金以外の一般会計からの繰入金に依存している状況です。適切な料金収入の確保に努めていく必要があります。

### ■施設利用率 (37.2%)

一日配水能力に対する一日平均配水量の割合を表すもので、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。

## ～令和6年度決算財務諸表～

### ■貸借対照表（ ）内は前年度

| 資産の部 |                          | 負債の部   |                          |
|------|--------------------------|--------|--------------------------|
| 固定資産 | 3,830 百万円<br>(2,988 百万円) | 負債合計   | 2,682 百万円<br>(2,109 百万円) |
| 流動資産 | 150 百万円<br>( 75 百万円)     | 資本の部   |                          |
|      |                          | 資本合計   | 1,298 百万円<br>(954 百万円)   |
| 資産合計 | 3,980 百万円<br>(3,063 百万円) | 負債資本合計 | 3,980 百万円<br>(3,063 百万円) |

### ■損益計算書

| [単位：千円] | 令和6年度   | 令和5年度   | 差 引     |
|---------|---------|---------|---------|
| 営業収益    | 402,972 | 345,059 | 57,913  |
| 営業費用    | 446,805 | 333,989 | 112,816 |
| 営業外収益   | 129,097 | 46,948  | 82,149  |
| 営業外費用   | 25,210  | 24,925  | 285     |
| 経常利益    | 60,054  | 33,093  | 26,961  |
| 特別損失    | 2,078   | 0       | 2,078   |

令和6年4月1日に簡易水道事業は水道事業会計に会計統合しました。

- 本市の水道事業・簡易水道事業の経営状況は、純利益が計上されているものの、人口減少に伴う水道料金の減少、維持管理費の増加や有収率の低下、老朽化する機械・電気設備や配水管の更新等、厳しい状況となっています。
- 今後も将来を見据えた計画的な事業実施と健全な財政運営に努めていきます。

### ■キャッシュフロー計算書（R6.4.1～R7.3.31）

|        |            |
|--------|------------|
| ●業務活動  | 184,051 千円 |
| ●投資活動  | ▲98,297 千円 |
| ●財務活動  | ▲75,640 千円 |
| 資金増加額  | 10,114 千円  |
| 資金期首残高 | 122,898 千円 |
| 資金期末残高 | 133,012 千円 |

\*端数未処理



- 水道事業・簡易水道事業は使用者の料金収入で経営されています。
- 安全・安心な水道水を、将来にわたり安定して供給するためにも料金の納期内納入をお願いします。